

平成 30 年度

全国学力・学習状況調査の
結果について



平成 30 年 12 月
海老名市立大谷小学校

目次

| | |
|--------------------------|------|
| 全国学力・学習状況調査について | P. 1 |
| 「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 2 |
| 「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 3 |
| 「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」 | P. 4 |
| 「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」 | P. 5 |
| ご家庭で取り組んでいただきたいこと | P. 6 |



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査(平成23年度は震災の関係で実施を中止)でしたが平成25年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

- 国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒
- ・ 小学校第6学年
 - ・ 中学校第3学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

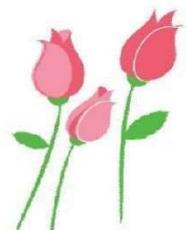
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成30年4月17日(火)



国語に関する調査結果

国語 A (主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 文の中における主語と述語との関係などに注意して、文を正しく書くことができます。
- 学年別配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。

《努力を要する所》

- 相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことに課題が見られます。

国語 B (主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、文章全体の構成をとらえ、その効果を考えることができます。
- 目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができます。

《努力を要する所》

- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことに課題が見られます。

これまでの取組から

- 文章を理解したり説明したりするときに、学び合いを大切に、内容を深めるように指導してきました。その中で、目的や意図に応じて文章を考える大切さが身に付いてきたと考えられます。
- 日常の中で既習の漢字を意図的に活用し復習することが身に付いてきていると考えられます。

今後の具体的な取組について

- 自分の考えを持ち、相手の考えを聴き、話し合いながら内容を深めることができるよう、今後も指導していきます。



算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 示されている数量の関係を理解し、数直線を用いて正確に表すことができます。
- 円の直径と円周の長さの関係や、円周率の意味について正確に理解することができます。
- 折れ線グラフから、変化の特徴を正確に読み取ることができます。

《努力を要する所》

- 混み具合を比べるときのわり算の式について、式と商の意味を読み取ることに課題があります。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形の性質や構成要素に着目し、示された条件に合う図形を見いだすことができます。
- 示されている情報を正しく理解し、求められている数値を表に整理したり、式に表したりすることができます。
- 示されているグラフの読み取り方について、それが何に着目して読み取っているのかを、言葉や数を使って説明することができます。

《努力を要する所》

- 問題文の情報から規則性を見だし、条件に合うものを選ぶことに課題があります。
- 自分の考えを言葉や式を使って説明することに課題があります。

これまでの取組から

- 友だちと考えを伝え合ったり、新たな課題を協同して解決したりする学習を積み重ねてきたことで、数学的な思考力が向上してきていると考えられます。
- 家庭学習が定着してきたことから、基礎的・基本的な学力が身に付いてきていると考えられます。

今後の具体的な取組について

- 自分の考えを表現できる場面をより多く設定し、数学的な思考力をさらに高めていけるように指導していきます。
- 学習した内容が、日常生活で活用できるような課題に取り組んでいきます。



理科に関する調査結果

《優れている所》

- 「流れる水の働き」の堆積・運搬・侵食に関する正しい知識をしっかりと理解し、適切に選択することができています。
- 「電池のはたらき」について乾電池のつなぎ方で電流の向きが変わることや、予想を基に結果を見通して実験を構想することができています。
- 「ものの溶け方」では物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを、食塩を溶かして体積が増えた食塩水に正しく適用することができています。

《努力を要する所》

- 提示された情報からより妥当な考えを作り出すために、実験結果を基に分析して考察しその内容を記述することに課題があります。
- 複数の情報を関連付けながら分析し、考察して答えを導くことに課題があります。

これまでの取組から

- めあて→予想→実験→結果→考察を基に、児童自ら興味関心をもって授業に取り組めるように指導してきました。その中で正しい知識や用語を理解し、活用することができていると考えられます。

今後の具体的な取組について

- 現象や事柄について、児童が自分のこととしてとらえ、考えることができるように実物を示したり、模式図を用いたりして興味付けを行い、できるだけ日常生活と関連付けられるように指導していきます。



児童質問紙の結果より

学習について

《よかった所》

- 80%の児童が「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と答えており、家庭での学習習慣が身に付いています。
- 74%の児童が「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と答えており、学び合う学習の深まりが見られます。

《課題と思われる所》

- 新しい問題に出会ったときに、消極的にとらえる傾向がややあります。

生活について

《よかった所》

- 95%の児童が「学校のきまりや友達との約束を守っている」と答えています。規範意識の高さがうかがえます。
- 95%の児童が「人の役に立つ人間になりたい・人が困っているときには進んで助ける」と答えています。
- 90%の児童が「将来の夢や目標を持っている」と答えています。

《課題と思われる所》

- 「地域の行事やボランティア活動に参加している」児童が少ない傾向にあります。

これまでの取組から

- 学習や生活において多くの望ましい態度や行動がみられることは、本校児童の大きな特長です。各ご家庭の養育が、大きく影響しているものと考えられます。学校においても、児童一人ひとりを理解し、支援しながらよりよい体験を積み上げていけるように指導・支援に努めていきます。
- 本校では「伝え合い」を生かした道徳の研究に取り組んでいます。教科や活動においても自分の意見を伝え合い、学び合うことを通して豊かな心が育ってきています。

今後の具体的な取組について

- 今後も、思考を伝え合い学び合う活動を通して、主体的に学習活動に取り組み、挑戦していく姿勢を育成していきます。
- 学習や行事など様々な活動の中で、友だちとの関わりを深め高め合えるように工夫し、自分や友だち・社会を大切に思う気持ちを育成していきます。
- 地域と学校の関わりについては、総合的な学習の時間や生活科等で、多くの方々のご支援をいただきながら学習を進めています。地域の方々を支えられて生活していることを知り、感謝の気持ちをもてる児童を育成していきます。

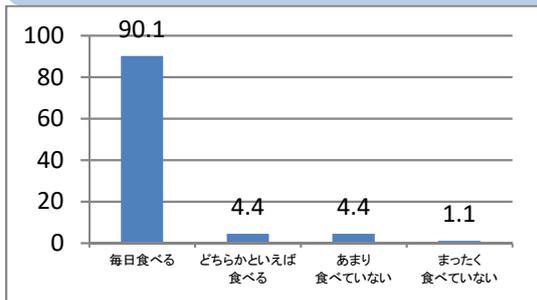
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成30年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

1 しっかりした生活習慣を身に付けましょう。

「早寝、早起き、朝ごはん」を心がけ、しっかりした生活リズムをつくりましょう。

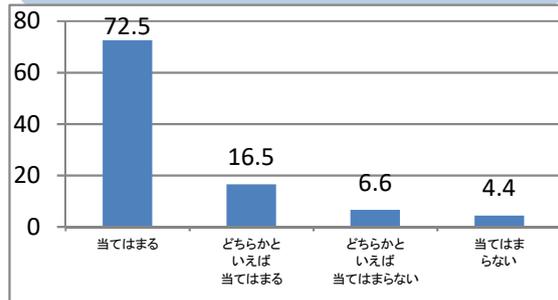
朝食を毎日食べていますか。



2 【自立・夢を拓く人】へ向けて応援しましょう。

自分の夢や目標を持てるように支援していきましょう。

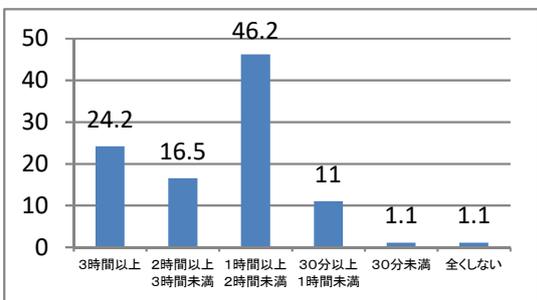
将来の夢や目標を持っていますか。



3 家庭学習に取り組みましょう。

毎日、一定の時間【めやす: 10分×学年】宿題や自主的な学習をする習慣をつけましょう。

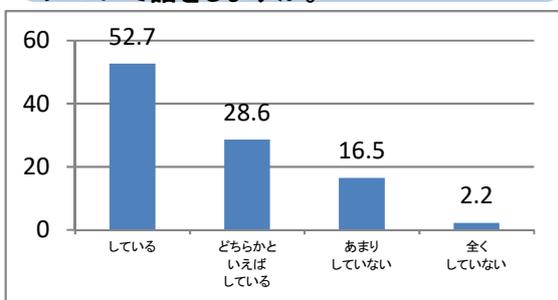
普段一日どれくらいの時間勉強しますか。



4 コミュニケーションを大切にしましょう。

お父さんとの会話を大切に、家族の絆を育みましょう。

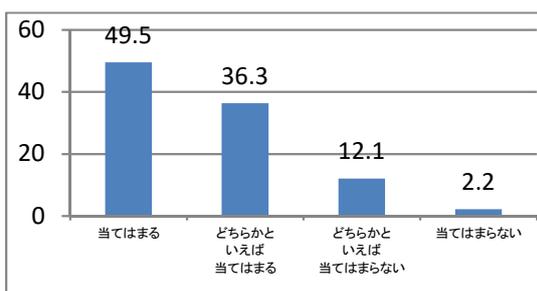
家の人(兄弟姉妹は除く)と学校での出来事について話をしますか。



5 認めてほめることを大切にしましょう。

自己肯定感を高めることはよりよい育ちにつながります。

自分には、よいところがあると思いますか。



6 地域や社会の出来事に関心をもちましょう。

地域の行事や社会の出来事について話したり、行事に家族で参加したりしてみましょう。

地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

